Genie®
A TEREX BRAND

操作説明書

Z-34/22

IC Power

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Sixth Edition
Second Printing
Part No. 1258815JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

はじめに 1
安全規則 2
操作パネル 9
説明 11
操作前の点検 12
メンテナンス 14
機能テスト 17
作業場の点検 22
操作手順 23
ステッカー 30
輸送および持ち上げの手順 34
仕様 37

Copyright © 1996 Terex Corporation

第 6 版:第 2 刷、2016 年 5 月

「Genie」および「Z」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

これらの機械は
ANSI A92.5
CSA B354.4 に適合しています。

CE EC の公式指示 2006/42/EC に準拠しています。
EC 適合宣言を参照してください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ー 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

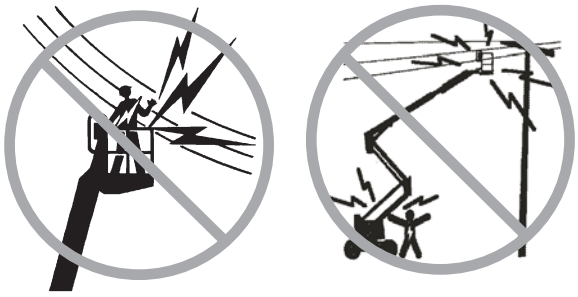
☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全規則

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



適合する法規および次の表に従って、電線や電気装置から安全な距離を保ってください。

電圧 範囲	安全を確保するための 最短距離	
0 ～ 300V	接触を避ける	
300V ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50KV ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200KV ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350KV ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500KV ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750KV ～ 1,000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	500 lbs	227 kg
航空機保護パッケージ装備の機械	440 lbs	200 kg
最大作業員数		2

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、パネルクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

安全規則

CE およびオーストラリア市場： 空気タイヤを使用しないでください。これらの機械はフォームタイヤを装備しています。安定性を保つには、タイヤ重量および適切なカウンターウェイトの構成が不可欠です。



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。



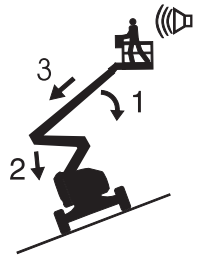
水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

ブームが下降しているときに傾斜アラームが鳴った場合には、ブームを水平より高く延長、旋回、あるいは上昇させないでください。作業台を上昇させる前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

ANSI、CSA および AUS モデル: 作業台を上昇させるときに傾斜アラームが鳴った場合には、最新の注意を払ってください。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

CE モデル: 作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴る場合には、細心の注意を払ってください。機械の非水平表示ランプが点灯し、一方向または両方向への走行機能は作動しません。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

すべてのモデル: 作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

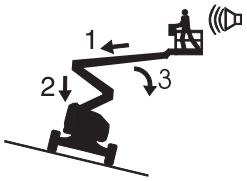


1 主ブームを下げます。

2 補助ブームを下げます。

3 主ブームを収縮します。

作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。



1 主ブームを収縮します。

2 補助ブームを下げます。

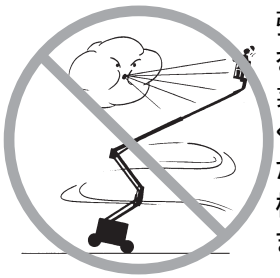
3 主ブームを下げます。

安全規則

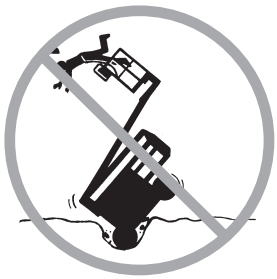
リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

主ブームが上昇、または伸長している状態、あるいは補助ブームが上昇している状態では、0.6 mph/時速 1 km 以上で走行しないで下さい。

風速が 28 mph/秒速 12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。28 mph/秒速 12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。

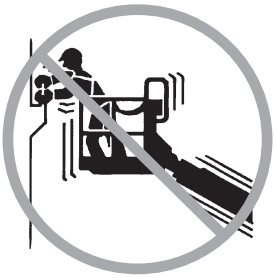
機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大勾配の定格値、収納状態、2WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	37%	(20°)
カウンターウェイト下がり傾斜	20%	(11°)
横勾配	25%	(14°)
最大勾配の定格値、収納状態、4WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	45%	(24°)
カウンターウェイト下がり傾斜	40%	(22°)
横勾配	25%	(14°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

安全規則

作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。



最大側方圧力 — ANSI & CSA
150 lbs/667 N

最大許容外圧力 - CE
90 lbs/400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

タイヤの状態がすべて良好であり、タイヤに適切に空気が入れられていること、およびラグナットが適切に締められていることを確認してください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

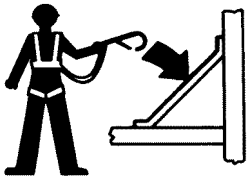
ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

安全規則

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



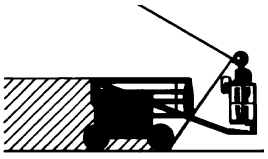
作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

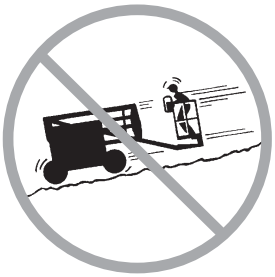
作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。

安全規則



ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

爆発と火災の危険

LP ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

安全規則

人体への傷害の危険

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

バッテリーの安全管理

やけどの危険

バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

感電の危険

電気端子に触れないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報シンボル – 作業員にケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

危険

赤 – 差し迫った危険があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至ります。

警告

オレンジ – 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は重傷または死に至る可能性があります。

要注意

安全上の警告シンボルを伴った黄色 – 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

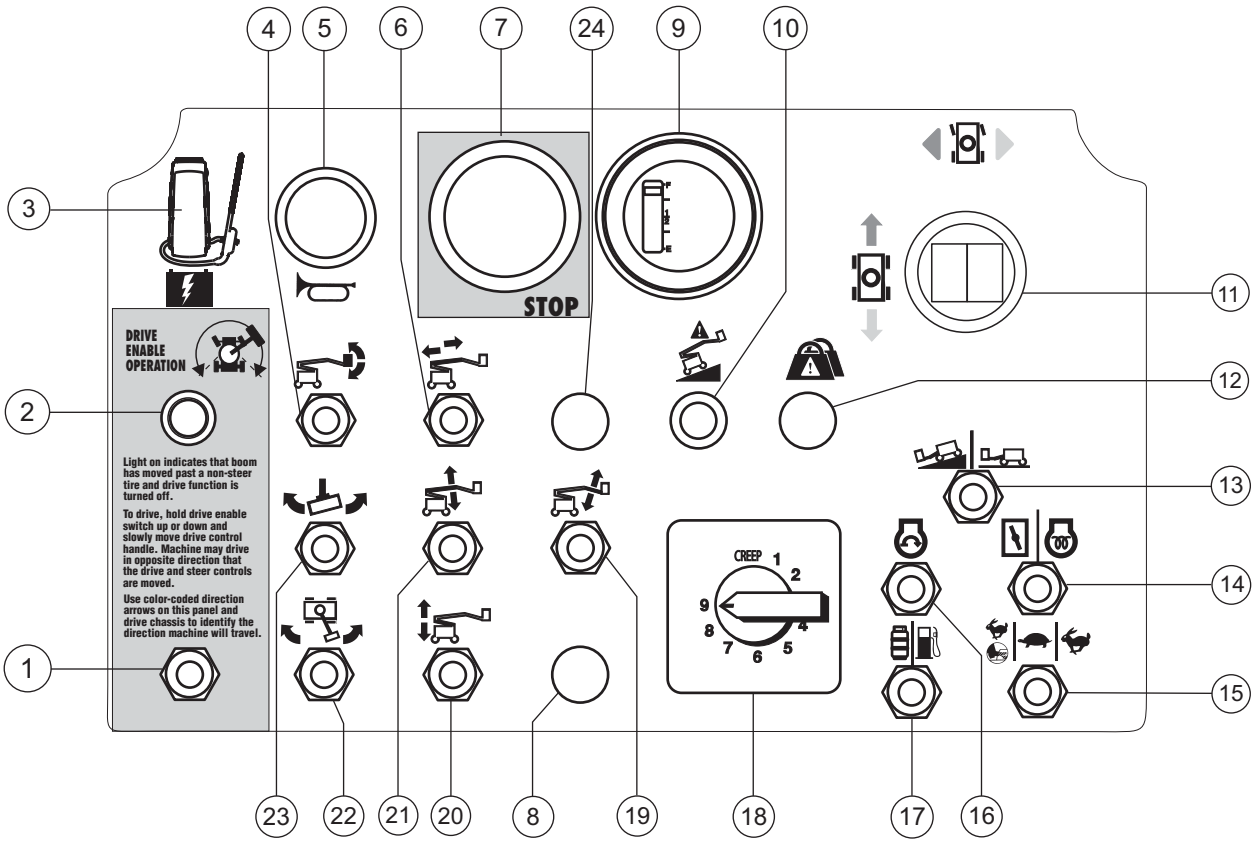
要注意

安全上の警告シンボルがない黄色 – 危険な状況になる可能性があることを示します。この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

注意

緑 – 操作方法または保守に関する情報を示します。

操作パネル

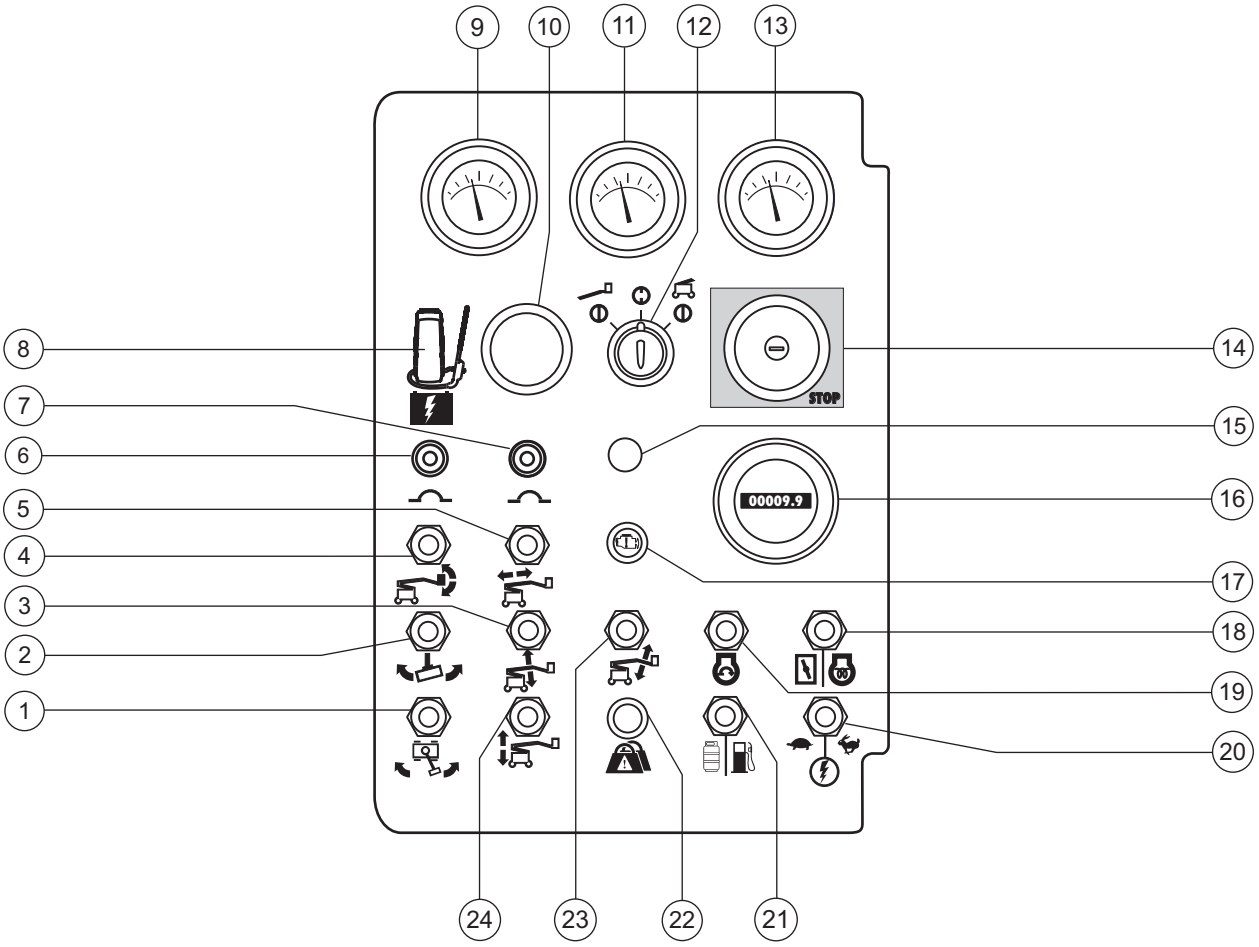


作業台操作パネル

1 走行機能スイッチ
2 走行機能表示ランプ
3 ANSI/CSA モデル: 補助電源スイッチ
CE モデル: カバー付き補助電源スイッチ
4 作業台水平スイッチ
5 ホーンボタン
6 主ブーム延長/収縮スイッチ
7 赤色非常停止ボタン
8 機能優先 - 航空機保護パッケージ (搭載されている場合)
9 バッテリー充電表示器 (搭載されている場合)
10 傾斜表示ランプ (搭載されている場合)
11 走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ
12 作業台過負荷表示ランプ (搭載されている場合)
13 走行速度選択スイッチ
14 ガソリン/LPG モデル: チョークスイッチ
ディーゼルモデル: グロープラグスイッチ
(搭載されている場合)
15 エンジンアイドリング (rpm) 選択スイッチ
- ウサギスイッチ&とペダルスイッチ: ペダルスイッチによる高速アイドリング開始
- カメのシンボル: 低速アイドリング
- ウサギのシンボル: 高速アイドリング

16 エンジン始動スイッチ
17 ガソリン/LPG モデル: ガソリン/LPG 選択スイッチ
18 ブーム機能速度コントローラー
19 ジブブーム上昇/下降スイッチ
20 補助ブーム上昇/下降スイッチ
21 主ブーム上昇/下降スイッチ
22 ターンテーブル旋回スイッチ
23 作業台回転スイッチ

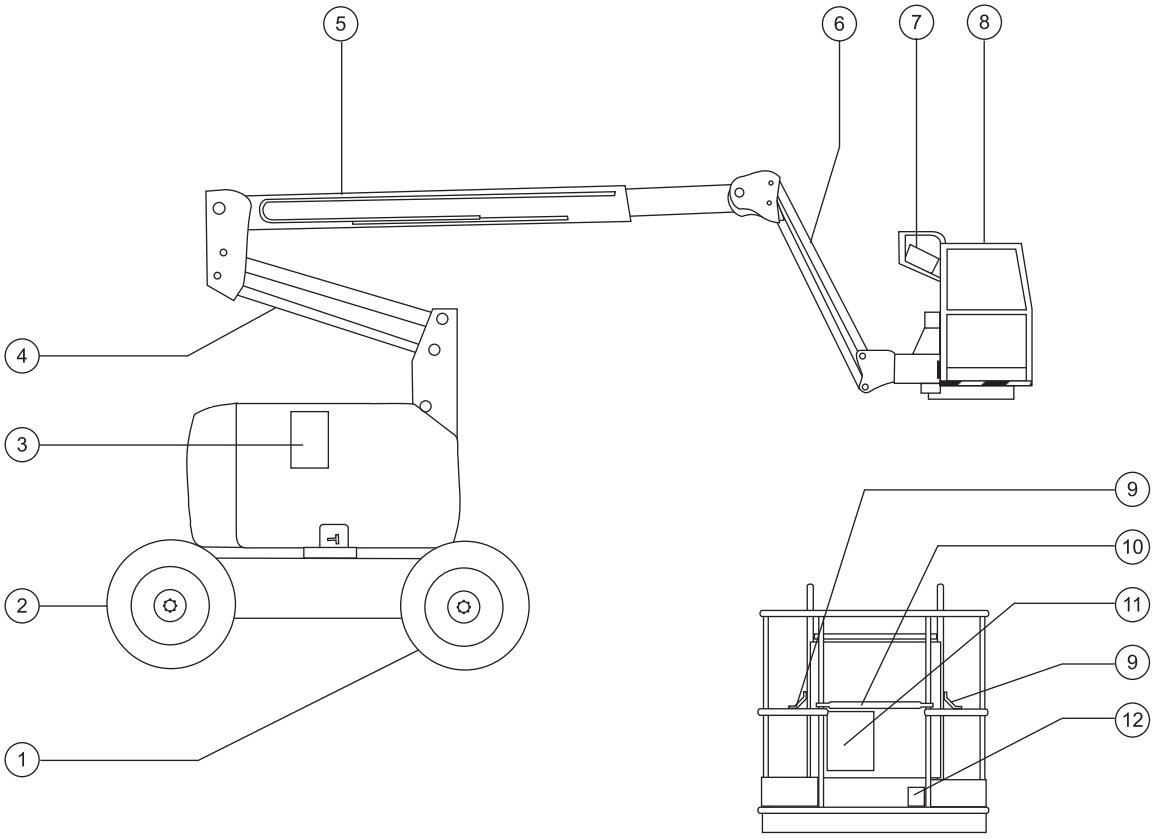
操作パネル



地上操作パネル

1 ターンテーブル旋回スイッチ
2 作業台回転スイッチ
3 主ブーム上昇/下降スイッチ
4 作業台水平スイッチ
5 主ブーム延長/収縮スイッチ
6 エンジン電気回路用 10A ブレーカー
7 制御電気回路用 10A ブレーカー
8 ANSI/CSA モデル: 補助電源スイッチ
CE モデル: カバー付き補助電源スイッチ
9 ガソリン/LPG モデル: 水温計
ディーゼルモデル: 油温計
10 移動アラーム
11 油圧計
12 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
13 電圧計
14 赤色非常停止ボタン
15 未使用
16 時間計 または 診断画面
17 エンジン点検ランプ（搭載されている場合）
18 ガソリン/LPG モデル:
ディーゼルモデル: グロープラグスイッチ
（搭載されている場合）
19 エンジン始動スイッチ
20 機能作動スイッチ
21 ガソリン/LPG モデル: 燃料選択スイッチ
22 作業台過負荷表示ランプ (搭載されている場合)
23 ジブブーム上昇/下降スイッチ
24 補助ブーム上昇/下降スイッチ

説明



1 非操舵側タイヤ
2 操舵輪
3 地上操作パネル
4 補助ブーム
5 主ブーム
6 ジブブーム
7 作業台操作パネル
8 作業台
9 安全帯固定場所
10 スライド式中間レール
11 マニュアル保管場所
12 ペダルスイッチ

操作前の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ 空気タイヤが適切な圧力であるかを確認します。必要に応じて空気を入れてください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、容器、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 発電機と関連部品
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ ブーム磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチ
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ ビーコンと警報（搭載している場合）
- ❑ 安全帯固定場所

機械全体に対して下記を確認します。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

保守記号の説明

注意

以下の記号は、指示の目的を分かりやすくするために使用されています。保守手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うためには、工具が必要です。



この手順を行うためには、新しい部品が必要です。

作動油量の点検



作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は、油圧タンクの FULL（満タン）と ADD（追加）のマークの間を指している必要があります。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD と同等 Premium MV と同等

エンジン冷却液の量の点検



エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：液の量は、NORMAL（標準）マークを指している必要があります。

メンテナンス

エンジンオイル量の点検

エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

クボタ DF-752-E2 エンジン	
オイルタイプ	10W-30
クボタ D-1105 エンジン	
オイルタイプ	10W-30
Perkins 403D-11 エンジン	
オイルタイプ	15W-40
GM エンジン 0.998L	
オイルタイプ	15W-40

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップを外します。

5 各バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

メンテナンス

タイヤ空気圧の点検



注意 この手順は、フォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

⚠ 警告 転倒の危険。パンク修理剤を使用してタイヤを一時的に補修しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。必要に応じて空気を入れてください。

タイヤ仕様	
工業用タイヤ	100 psi/6.89 バール
不整地用タイヤ	45 psi/3.1 バール
ハイフロテーションタイヤ	44 psi/3.0 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

機能テスト

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

地上操作の場合

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

⊙ 結果:ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしてエンジンを再始動します。

機械機能のテスト



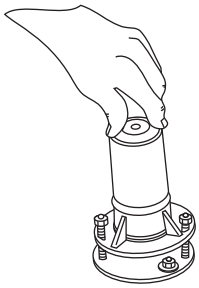
7 機能作動スイッチを、いずれかの側に押したままにしないようにします。各ブームおよび作業台の機能トグルスイッチが作動するか試します。

⊙ 結果:ブームおよび作業台の機能は何も作動しません。

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります (搭載されている場合)。

傾斜センサーのテスト



9 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。作業台の赤色非常停止ボタンを引いて オン の位置にします。

10 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、傾斜センサーを見つけてください。

11 傾斜センサーの片側を下に押します。

⊙ 結果:作業台のアラームが鳴ります。

補助制御のテスト

12 キースイッチを回して地上操作にし、エンジンを停止します。

13 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。



14 同時に補助電源スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブーム機能が作動します。

機能テスト

作業台操作

非常停止のテスト

15 キースイッチを回して作業台操作に切り替えて、エンジンを再始動します。

16 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

17 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしてエンジンを再始動します。

警報のテスト

18 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

20 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。エンジンは始動しないでください。

21 ペダルスイッチを踏み、始動トグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果:エンジンは始動しません。

22 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

⊙ 結果:エンジンは始動します。

23 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

機械機能のテスト

24 ペダルスイッチを踏みます。

25 機械機能コントロール ハンドルまたはトグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

注記:ブーム機能速度コントローラーを調節して、ブーム機能の速度を制御できます。走行および操舵機能は、ブーム機能速度コントローラーに影響されません。

ステアリングのテスト

26 ペダルスイッチを踏みます。

27 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

28 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの黄色の三角形の示す方向に押します。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

機能テスト

走行とブレーキのテスト

29 ペダルスイッチを踏みます。

30 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：移動アラーム（搭載されている場合）が鳴ります。機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

31 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：移動アラーム（搭載されている場合）が鳴ります。機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

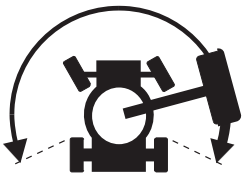
走行機能システムのテスト

32 ペダルスイッチを踏みます。

33 主ブームを収納位置まで収縮します。

34 ブームが非操舵輪の 1 つを越えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間、点灯を続けます。



35 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

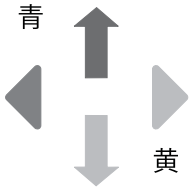
⊙ 結果：走行機能は作動しません。

36 走行機能トグルスイッチを上か下に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



機能テスト

走行制限速度のテスト

37 ペダルスイッチを踏みます。

38 主ブームを 1 フット/30 cm 上昇します。

39 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主ブームが上昇した状態での最大走行速度は 1 秒間に 1 ft/30 cm を超えてはいけません。

40 主ブームを収納位置まで下ろします。

41 補助ブームを 1 フット/30 cm 上昇します。

42 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 1 秒間に 30 cm を超えてはいけません。

43 補助ブームを収納位置まで下ろします。

44 主ブームを 1 フット/30 cm 伸長します。

45 走行コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:主ブームが延長した状態での最大走行速度は 1 秒間に 1 ft / 30 cm を超えてはいけません。

主ブームまたは補助ブームを上昇した状態、あるいは主ブームを延長した状態で走行速度が 1 秒間に 1 ft / 30 cm を超えた場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

補助制御のテスト

46 エンジンを停止します。

47 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

48 ペダルスイッチを踏みます。

49 補助電力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/走行選択機能のテスト（搭載されている場合）

50 ペダルスイッチを踏みます。

51 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果:ブーム機能は何も作動しません。機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

航空機保護パッケージのテスト (搭載されている場合)

52 作業台底部の黄色いバンパーをいずれかの方向に 4 インチ/10 cm 動かします。

53 各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:ブーム機能は何も作動しません。

54 機能優先スイッチを動かしてそのままにします。

55 各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。

作業場の点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

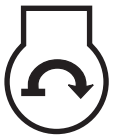
エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に動かします。エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。



15 秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。60 秒間待ってから、再度始動を試みてください。

すべてのモデル： 20°F/-6°C 以下の極寒の状況では、油圧システム損傷を避けるために 5 分間エンジンを温めてください。

ガソリン/LPG モデル：20°F/-6°C 以下の極寒の状況では、機械をまずガソリンで始動し、次に LPG に切り替えます。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助制御

主電源が停止した場合に、補助電源を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 CE モデル： 安全紐を外して、非常電源スイッチカバーを持ち上げます。

注記：安全紐が破損している、または見つからない場合には、Genie サービスマニュアルを参照してください。

5 補助電源スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。



走行機能は、補助電源では作動しません。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。

作業台を配置する

1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。



2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 ガソリン/LPG モデル：燃料選択スイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジンを始動させます。エンジンを始動するときは、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を配置する

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械の場合：主ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

操舵

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向マークで、タイヤの向く方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

操作手順

傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、カウンターウェイト上り勾配 (登坂能力):
2WD: 37% (20°)
4WD: 45% (24°)



最大定格勾配、カウンターウェイト下り勾配:
2WD: 20% (11°)
4WD: 40% (22°)



最大定格横勾配:
25% (14°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

登坂能力という用語は、カウンターウェイトが上り坂にある構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が非操舵輪の間にあることを確認します。

走行速度選択スイッチを機械が傾斜面上にあることを示すシンボルの方向に動かします。

傾斜勾配の確認方法

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft/1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

操作手順

走行機能

表示ランプの点灯は、ブームが非操舵輪を超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。



走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロール ハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロール ハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

走行速度選択



- 機械が傾斜面上にあるシンボル：傾斜用の狭範囲運転
- 機械が水平面上にあるシンボル：最大走行速度用の広範囲運転。

エンジンアイドリング選択（rpm）

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング (rpm) を選択してください。



- ウサギスイッチ&とペダルスイッチ：ペダルスイッチによる高速アイドリング開始
- カメのシンボル：低速アイドリング
- ウサギのシンボル：高速アイドリング

エンジン点検ランプ（搭載されている場合)



ランプが点灯し、エンジンが停止した場合、故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。

ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合、24 時間以内にサービス担当者に連絡してください。

操作手順

発電機（搭載されている場合）

発電機を始動するには、発電機トグルスイッチをオンの位置に動かします。

電動工具のプラグを作業台用 GFCI コンセントに差し込みます。

発電機を止めるには、発電機トグルスイッチをオフの位置に動かします。

注記：機械機能は、発電機が作動し、ペダルスイッチを踏んでいない間は作動しません。ペダルスイッチを踏むと、発電機は止まり機械機能が作動します。

作業台過負荷表示ランプ



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。それからエンジンを再始動します。

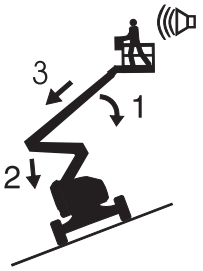
機械非水平表示ランプ



ANSI、CSA および AUS モデル: 作業台を上昇させるときに傾斜アラームが鳴った場合には、最新の注意を払ってください。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

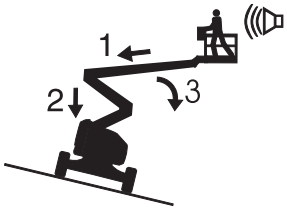
CE モデル: 作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴る場合には、細心の注意を払ってください。機械の非水平表示ランプが点灯し、一方向または両方向への走行機能は作動しません。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

すべてのモデル：作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。主ブームを下げます。補助ブームを下げます。主ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 主ブームを収縮します。
2 補助ブームを下げます。
3 主ブームを下げます。



操作手順

航空機保護パッケージ（搭載されている場合）

作業台バンパーが航空機コンポーネントに接触すると、機械が停止してすべての機能が作動しなくなります。

1 エンジンを始動させます。

2 ペダルスイッチを踏みます。

3 航空機保護機能優先スイッチを動かしてそのままにします。

4 適切な機能コントロールハンドルまたはトグルスイッチを動かして、機械を航空機コンポーネントから離してください。

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

ステッカー

警告用語付きステッカーの点検

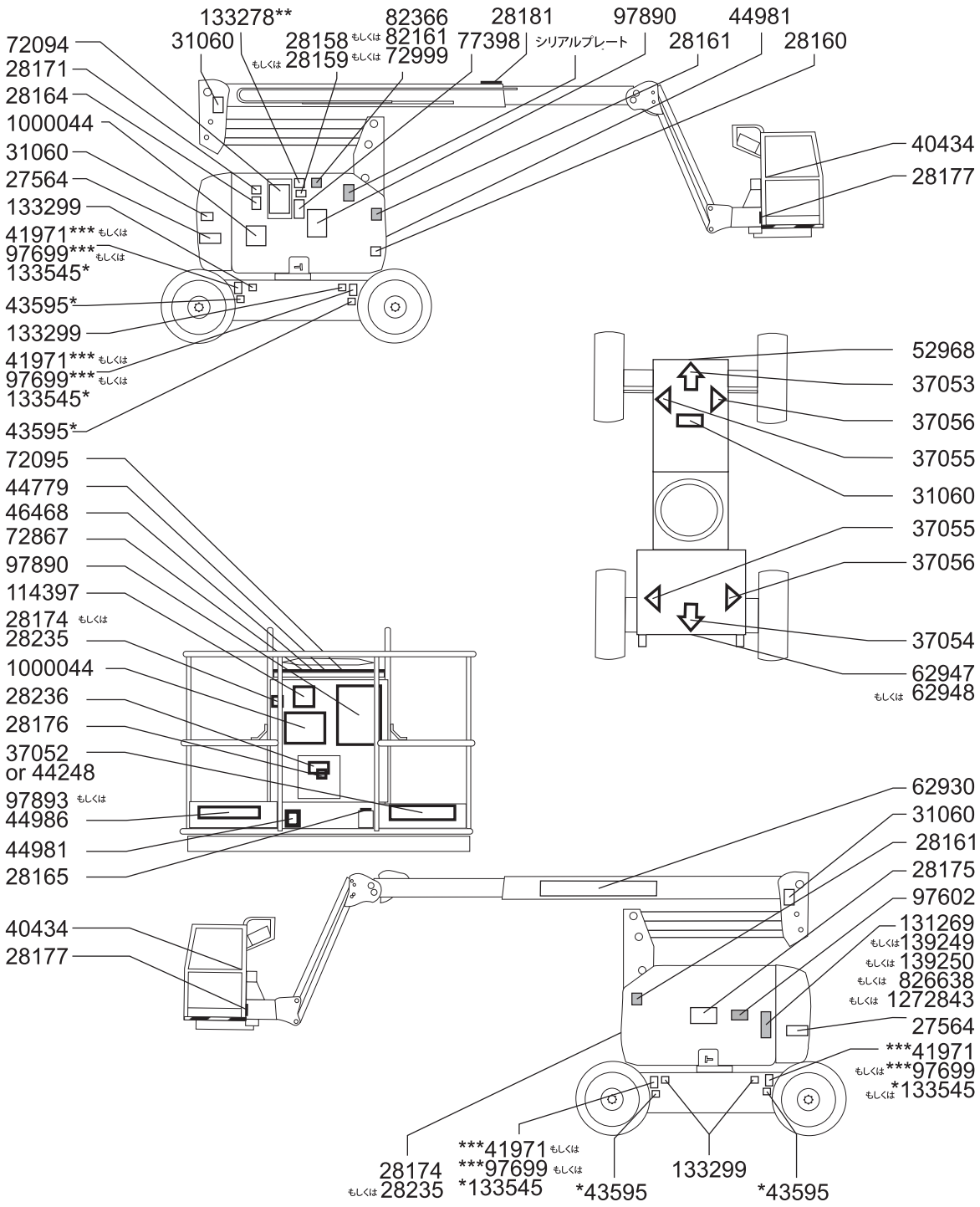
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
27564	危険 ー 感電の危険	2
28158	ラベル ー 無鉛	1
28159	ラベル ー ディーゼル	1
28160	ラベル ー 液化石油ガス	1
28161	警告 ー 手のケガの危険	3
28165	手順 ー ペダルスイッチ	1
28171	ラベル ー 禁煙	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V	2
28175	警告 ー コンパートメントへのアクセス	1
28176	ラベル ー 説明書の不備	1
28177	警告 ー 衝突の危険	2
28181	警告 ー 足をのせたり乗ったりしない	1
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V	2
28236	警告 ー 不適切な操作	1
31060	危険 ー 転倒の危険、リミット スイッチ	4
37052	注意 ー 最大積載量、500 lbs/227 kg	1
37053	矢印 ー 青	1
37054	矢印 ー 黄	1
37055	三角 ー 青	2
37056	三角 ー 黄	2
40434	ラベル ー 安全帯固定箇所	2
41971	注意 ー タイヤ空気圧	4
43595	危険 ー 転倒の危険、タイヤ	4
44248	注意 ー 最大積載量、440 lbs/200 kg（航空機保護パッケージ）	1
44779	発電機 (オプション)	1
44981	ラベル ー 作業台への空気管 (オプション)	2
44986	指示 ー 最大外圧、90 lbs/400 N	1
46468	機能優先（航空機保護パッケージ）（航空機保護パッケージ）	1
52969	外装 ー Genie Boom	1
62930	外装 ー Genie Z-34/22	1
62947	外装 ー IC Power 4 x 2	1
62948	外装 ー IC Power 4 x 4	1
72094	地上操作パネル	1
72095	作業台操作パネル	1
72867	ラベル ー 作業ランプ (オプション)	1
72999	ラベル – Environ MV46	1
77398	ラベル ー タイヤのシーリング	1
82161	ラベル ー UCON Hydrolube、HP-5046	1
82366	ラベル ー Chevron Rando	1
97602	警告 ー 爆発の危険	1
97699	注意 - タイヤ空気圧	4
97890	危険 ー 安全上の規則	2
97893	注意 ー 最大側方圧力、150 lbs/667 N	1
114397	危険 ー 傾斜アラーム	1
131269	注意 - クボタディーゼルエンジン仕様	1
133278	ラベル ー 低硫黄燃料	1
133299	ラベル – ホイール荷重	4
133545	注意 - タイヤ仕様	4
139249	指示 ー Perkins エンジン仕様	1
139250	注意 - クボタガスエンジン仕様	1
826638	指示 - Perkins エンジン仕様 403D-11	1
1000044	注 - 操作指示	2
1272843	指示 – エンジン仕様（GM .998L）	1

* オーストラリア市場のみ、** ディーゼル燃料の機械、***ANSI 市場のみ

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例：カバーの下など) 。

ステッカー


133278**
82366
28181
97890
44981
31060
28158 もしくは 28159
82161 もしくは 72999
77398
シリアルプレート
28161
28160
72094
28171
28164
1000044
31060
27564
133299
41971*** もしくは 97699*** もしくは 133545*
43595*
133299
41971*** もしくは 97699*** もしくは 133545*
43595*
40434
28177
52968
37053
37056
37055
31060
37055
37056
37054
62947 もしくは 62948
72095
44779
46468
72867
97890
114397
28174 もしくは 28235
1000044
28236
28176
37052 or 44248
97893 もしくは 44986
44981
28165
62930
31060
28161
28175
97602
131269 もしくは 139249 もしくは 139250 もしくは 826638 もしくは 1272843
27564
***41971 もしくは ***97699 もしくは *133545
40434
28177
28174 もしくは 28235
***41971 もしくは ***97699 もしくは *133545
*43595
133299
*43595

ステッカー

シンボル付きステッカーの点検

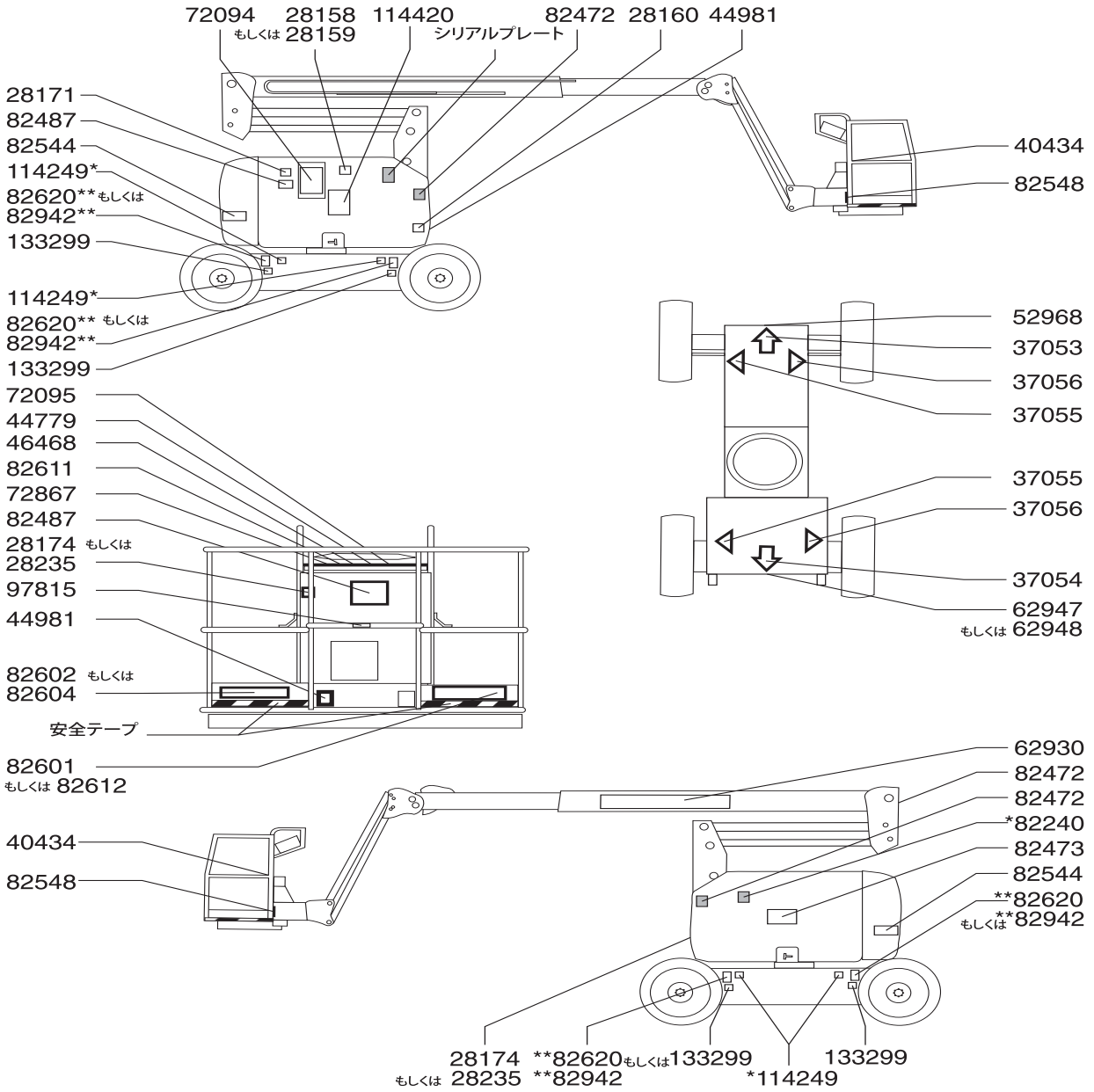
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28158	ラベル – 無鉛	1
28159	ラベル – ディーゼル	1
28160	ラベル – 液化石油ガス	1
28171	ラベル – 禁煙	1
28174	ラベル – 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル – 作業台への電力、115V	2
37053	矢印 – 青	1
37054	矢印 – 黄	1
37055	三角 – 青	2
37056	三角 – 黄	2
40434	ラベル – 安全帯固定箇所	2
44779	発電機 (オプション)	1
44981	ラベル – 作業台への空気管 (オプション)	2
46468	機能優先（航空機保護パッケージ） （航空機保護パッケージ）	1
52968	外装 – Genie Boom	1
62930	外装 – Genie Z-34/22	1
62947	外装 – IC Power 4 x 2	1
62948	外装 – IC Power 4 x 4	1
72094	地上操作パネル	1
72095	作業台操作パネル	1
72867	ラベル – 作業ランプ (オプション)	1
82240	ラベル – 105 dB	1
82472	ラベル – 挟まる危険	1
82473	ラベル – コンパートメントへのアクセス	1
82487	ラベル – マニュアルを読む	2
82544	危険 – 感電の危険	2
82548	ラベル – 作業台回転	2
82601	ラベル – 最大積載量 227 kg	1
82602	ラベル – 最大外圧、667 N、ANSI	1
82604	ラベル – 最大外圧、400 N	1
82611	ラベル – 走行機能パッチ	1
82612	危険 – 最大積載量、200 kg、ANSI & CSA	1
82620	ラベル – タイヤ空気圧、RT タイヤ	4
82942	ラベル – タイヤ空気圧、工業用タイヤ	4
97815	ラベル – 中間レールを下げる	4
114249	ラベル – 転倒の危険、タイヤ	4
114420	ラベル – 緊急下降	1
133299	ラベル – ホイール荷重	4

* CE 市場のみ、** ANSI 市場のみ

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例：カバーの下など) 。

ステッカー


72094
28158
もしくは 28159
114420
シリアルプレート
82472
28160
44981
28171
82487
82544
114249*
82620** もしくは
82942**
133299
114249*
82620** もしくは
82942**
133299
40434
82548
52968
37053
37056
37055
37055
37056
37054
62947
もしくは 62948
72095
44779
46468
82611
72867
82487
28174 もしくは
28235
97815
44981
82602 もしくは
82604
安全テープ
82601
もしくは 82612
62930
82472
82472
*82240
82473
82544
**82620
もしくは **82942
40434
82548
28174 **82620 もしくは 133299 133299
もしくは 28235 **82942 *114249

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

☑ 機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を超える場合、機械の積み下ろしの際には指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール設定

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 走行ハブ取外しキャップを裏返して、非操舵輪のブレーキを解除します。

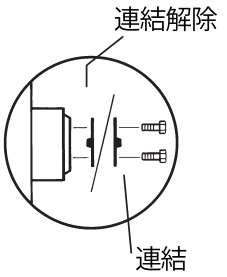
3 シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

機械を載せた後は、以下を行います。

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 走行ハブ取外しキャップを反して、非操舵ホイールブレーキを使用します。

Genie Z-34/22 は牽引しないでください。牽引しなければならない場合は、2 mph/時速 3.2 km を超えないでください。



輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

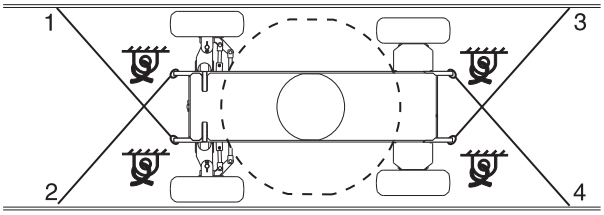
シャーシの固定

シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 4 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。

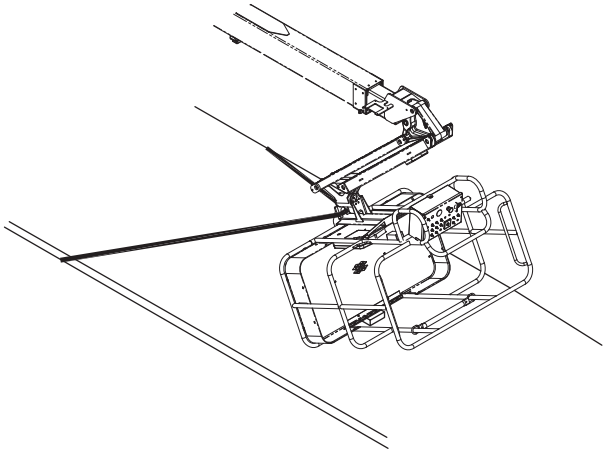


作業台の固定

ジブと作業台が収納された状態であることを確認してください。

作業台出入口下の作業台端の下にブロックを置きます。

作業台回転位置付近の作業台マウントにナイロンストラップを掛けて、作業台を固定してください (下図を参照) 。ブーム部分を固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ては、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 承認されたクレーン作業員のみが、適切なクレーン規制のみに従い、機械の持ち上げを行わなければなりません。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

持ち上げの手順

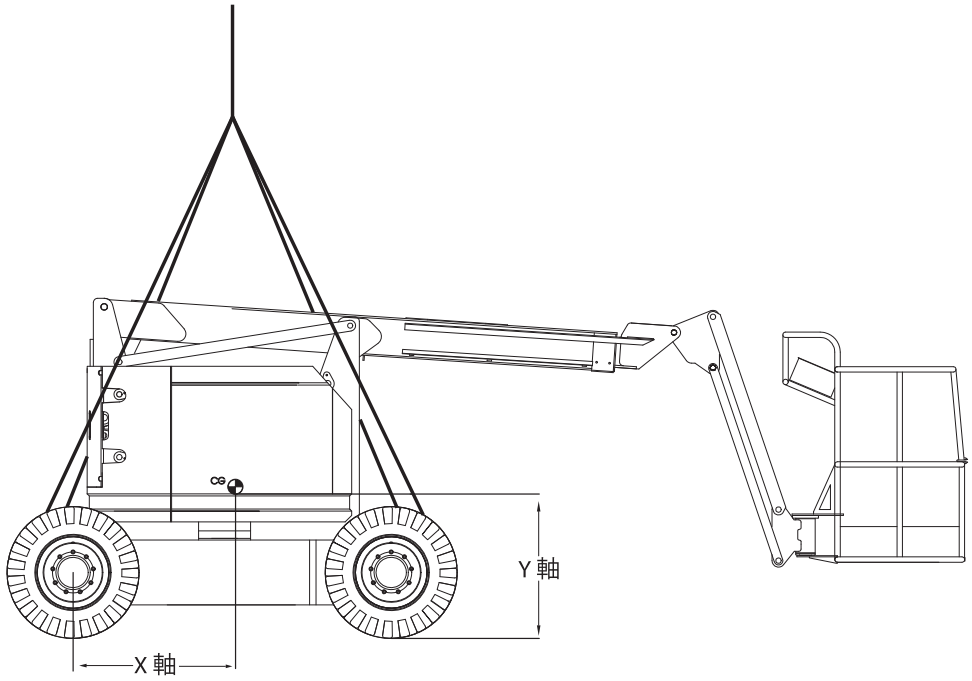
ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。シャーシには、吊り上げ点が 4 箇所あります。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

X 軸	35.9 in/91.3 cm
Y 軸	33.3 in/84.7 cm



仕様

Z-34/22 2WD 工業用		
高さ、操作時最大	40 ft 6 in	12.5 m
高さ、作業台最大	34 ft 6 in	10.5 m
高さ、収納時最大	6 ft 7 in	2 m
水平最大到達距離	22 ft 3 in	6.8 m
幅	5 ft 8 in	1.7 m
長さ、作業台収納時	18 ft 6 in	5.6 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速	28 mph	秒速 12.5 m
ホイールベース	6 ft 2 in	1.9 m
旋回半径 (外側)	13 ft 1 in	4 m
旋回半径 (内側)	5 ft 9 in	1.8 m
最低地上高	6 in	15 cm
ターンテーブル旋回		355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0 in	0 cm
作業台水平維持		自動水平維持
作業台回転角度		180°
操作パネル		12V DC 比例
作業台寸法(奥行き x 幅)		56 in x 30 in 1.4 m x 76 cm
電源	クボタ DF972 G/LPG	31 hp
	またはクボタ D1105 ディーゼル	26 hp
	または Perkins 403D ディーゼル	26.4 hp
	または Perkins 403D ディーゼル	24.6 hp
	または GM 0.998L G/LPG	29.6 hp
燃料タンク容量	9.3 ガロン	35.2 リットル
作業台 AC コンセント		標準
油圧、最大(ブーム機能)	3200 psi	221 バール
システム電圧		12V
タイヤ サイズ (ANSI)工業用		9-14.5
タイヤ サイズ (CE およびオーストラリア)工業用 (フォームタイヤのみ)		9-14.5

ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒 ^{2} を超過しません。

本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒 ^{2} を超過しません。

重量
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)

走行速度、最高		
ブーム収納時	3.0 mph 40 ft/9 秒	4.8 km/時 12.2 m/9 秒
ブーム上昇または延長時	0.7 mph 40 ft/40 秒	時速 1.0 km 12.2 m/40 秒

最大定格勾配、収納状態、2WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	37%	20°
カウンターウェイト下がり傾斜	20%	11°
横勾配	25%	14°

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	81 dBA
作業台での音圧レベル	80 dBA
保証された音響レベル	105 dBA

床荷重表		
最大輪荷重	5300 lbs	2404 kg
タイヤ接地圧 (タイヤ毎)	100 psi	7.03 kg/cm^2 689 kPa
車体占有面の平均圧力	221 psf	10.58 kP^a 1079 kg/m^2

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

Z-34/22 2WD および 4WD RT		
高さ、操作時最大	40 ft 6 in	12.5 m
高さ、作業台最大	34 ft 6 in	10.5 m
高さ、収納時最大	6 ft 7 in	2 m
水平最大到達距離	22 ft 3 in	6.8 m
幅	6 ft 1 in	1.8 m
長さ、作業台収納時	18 ft 7 in	5.7 m
最大積載荷重	500 lbs	227 kg
最大風速	28 mph	秒速 12.5 m
ホイールベース	6 ft 2 in	1.9 m
旋回半径 (外側)	13 ft 6 in	4.1 m
旋回半径 (内側)	5 ft 11 in	1.8 m
最低地上高	6.5 in	16.5 cm
ターンテーブル旋回		355°
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0 in	0 cm
作業台水平維持		自動水平維持
作業台回転角度		180°
操作パネル		12V DC 比例
作業台寸法(奥行き x 幅)		56 in x 30 in 1.4 m x 76 cm
電源 クボタ DF972 G/LPG		31 hp
またはクボタ D1105 ディーゼル		26 hp
または Perkins 403D ディーゼル		26.4 hp
または Perkins 403D ディーゼル		24.6 hp
または GM 0.998L G/LPG		29.6 hp
燃料タンク容量	9.3 ガロン	35.2 リットル
作業台 AC コンセント		標準
油圧、最大(ブーム機能)	3200 psi	221 バール
システム電圧		12V
タイヤ サイズ (ANSI) 不整地		10-16.5 NHS
タイヤ サイズ (CE およびオーストラリア) 不整地(フォームタイヤのみ)		10-16.5 NHS
ハンド/アームシステムが対象となる総振動値は 2.5 m/秒 ^{2} を超過しません。		
本体全体が対象となる補正加速度の最高二乗平均平方根値は 0.5 m/秒 ^{2} を超過しません。		
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。)		

走行速度、最高		
ブーム収納時	3.0 mph 40 ft/9 秒	4.8 km/時 12.2 m/9 秒
ブーム上昇または延長時	0.7 mph 40 ft/40 秒	時速 1.0 km 12.2 m/40 秒

最大定格勾配、収納状態、4WD		
カウンターウェイト上がり傾斜	45%	24°
カウンターウェイト下がり傾斜	40%	22°
横勾配	25%	14°

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

機械による騒音	
地上作業場での音圧レベル	81 dBA
作業台での音圧レベル	80 dBA
保証された音響レベル	105 dBA

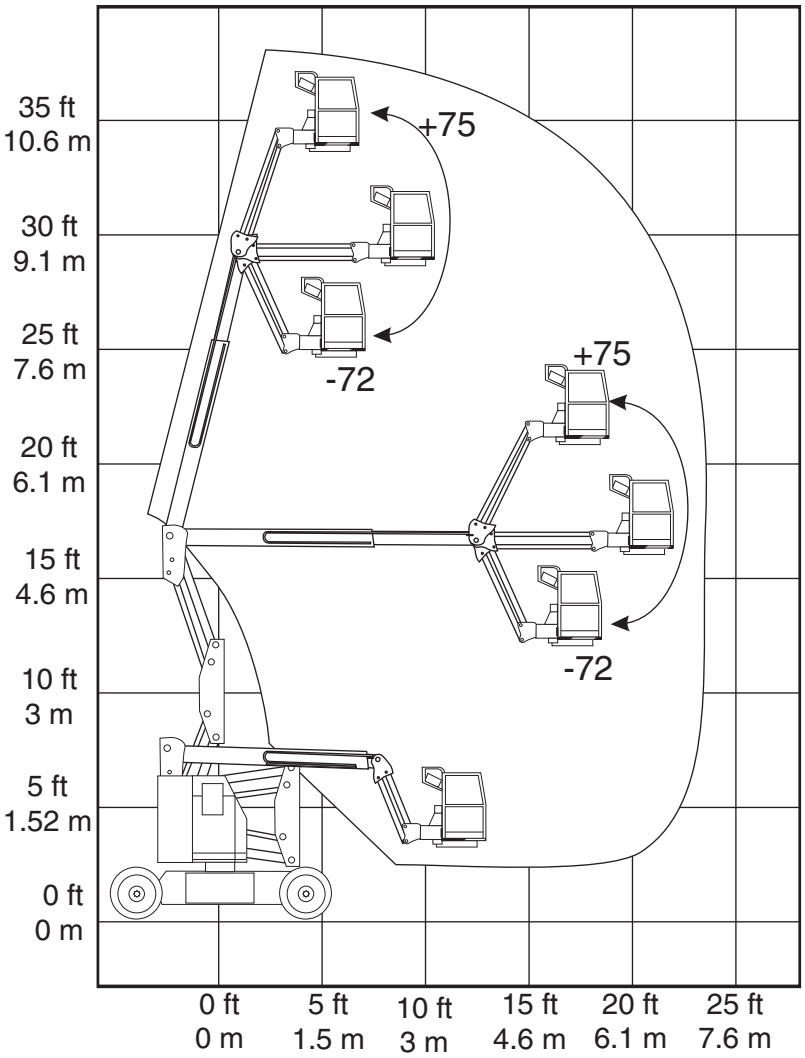
床荷重表		
最大輪荷重	5300 lbs	2404 kg
タイヤ接地圧 (タイヤ毎)	45 psi	3.16 kg/cm^2 310 kPa
車体占有面の平均圧力	221 psf	10.58 kP^a 1079 kg/m^2

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

動作範囲


35 ft
10.6 m
30 ft
9.1 m
25 ft
7.6 m
20 ft
6.1 m
15 ft
4.6 m
10 ft
3 m
5 ft
1.52 m
0 ft
0 m
+75
-72
+75
-72
0 ft
0 m
5 ft
1.5 m
10 ft
3 m
15 ft
4.6 m
20 ft
6.1 m
25 ft
7.6 m

代理店

www.genielift.com